平成１７年度　町民アンケート調査

結果報告書（概要版）

＜速報版(未定稿)＞

平成１７年９月

森 町 企 画 財 政 課

Ⅰ　調査概要

1　調査目的　　第８次森町総合計画の策定に向けて、町民の町政に対する認識や意見、今後のまちづくりの方針等に関する意識調査を行い、計画に反映することを目的とする。

2　調査対象　　町に住所を有する平成２年４月１日以前に生まれた満 15 歳以上の男女

3　標本数　　２，０２８人

4　抽出方法　　住民基本台帳より無作為抽出

5　調査方法　　郵送法

6　調査期間　　平成 17 年８月１日から８月 20 日まで

7　回収結果

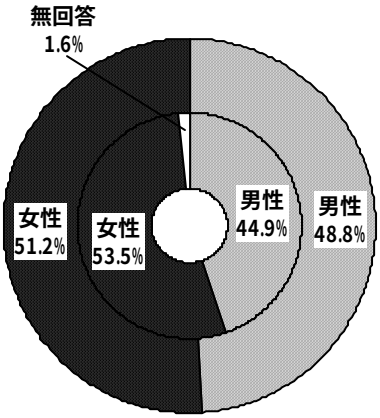
地区	標　本		
	発送数	回収数（率）	
三　倉	116	63	（54.3%）
天　方	143	66	（46.2%）
森	796	373	（46.9%）
一　宮	189	76	（40.2%）
園　田	357	147	（41.2%）
飯　田	427	179	（41.9%）
地区無回答	－	10	（－）
無　効	－	1	（－）
合　計	2,028	915	（45.1%）

8　有効回答数（率）　　９１４　（４５．１%）

Ⅱ　調査結果

Ｆ１　あなたの性別をお答えください。

（注）内円：標本比率
　　外円：母集団となる住民基本台帳人口

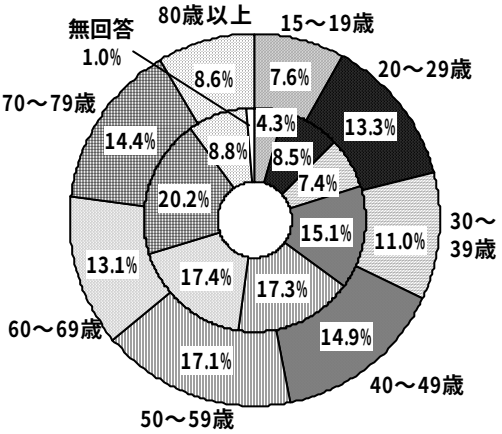


	母集団		標本	
	人口	構成比	件数	構成比
1.男性	8,789	48.8%	410	44.9%
2.女性	9,232	51.2%	489	53.5%
無回答			15	1.6%
計	18,021	100.0%	914	100.0%

➢　性別について、男性の回答率の低さがみられますが、この程度ならば母集団とほとんど同じであるといえます。

Ｆ２　あなたの年齢をお答えください。

（注）内円：標本比率
　　外円：母集団となる住民基本台帳人口

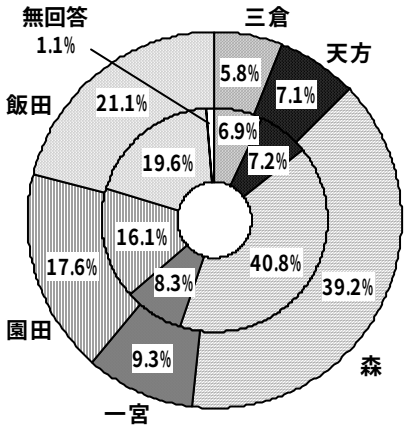


	母集団		標本	
	人口	構成比	件数	構成比
1. 15～19 歳	1,378	7.6%	39	4.3%
2. 20～29 歳	2,397	13.3%	78	8.5%
3. 30～39 歳	1,977	11.0%	68	7.4%
4. 40～49 歳	2,693	14.9%	138	15.1%
5. 50～59 歳	3,077	17.1%	158	17.3%
6. 60～69 歳	2,355	13.1%	159	17.4%
7. 70～79 歳	2,594	14.4%	185	20.2%
8. 80 歳以上	1,550	8.6%	80	8.8%
無回答			9	1.0%
計	18,021	100.0%	914	100.0%

➢　年齢別では若年層の回答率が低くなっていますが、これは社会調査の一般的な傾向といえます。

Ｆ３　あなたがお住まいの地区をお答えください。

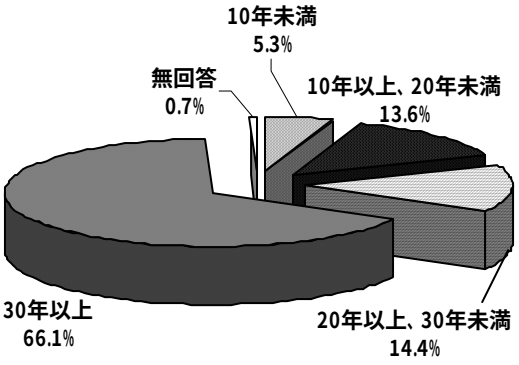
（注）内円：標本比率
　　外円：母集団となる住民基本台帳人口



	母集団		標本	
	人口	構成比	件数	構成比
1.三倉	1,038	5.8%	63	6.9%
2.天方	1,278	7.1%	66	7.2%
3.森	7,060	39.2%	373	40.8%
4.一宮	1,676	9.3%	76	8.3%
5.園田	3,172	17.6%	147	16.1%
6.飯田	3,797	21.1%	179	19.6%
無回答			10	1.1%
計	18,021	100.0%	914	100.0%

➢　回答者の居住地分布は、各地区の人口割合をよく反映した結果となっています。

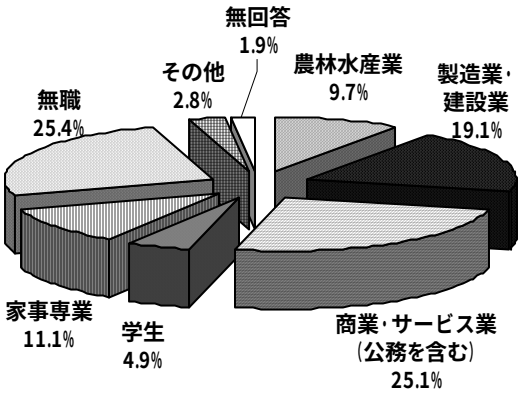
Ｆ４　あなたは森町にお住まいになってから、どのくらいの年数（合計）がたっていますか。



	件数	構成比
1. 10 年未満	48	5.3%
2. 10 年以上、20 年未満	124	13.6%
3. 20 年以上、30 年未満	132	14.4%
4. 30 年以上	604	66.1%
無回答	6	0.7%
計	914	100.0%

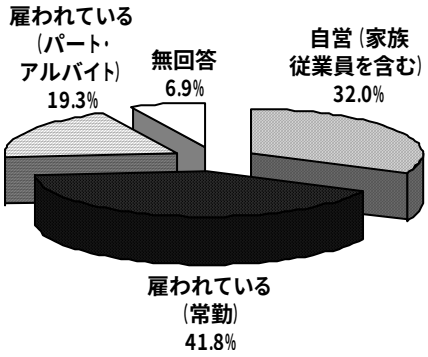
- 回答者の 66.1%が「30 年以上」居住していると回答しています。

Ｆ５　あなたの職業（勤務先の業種）は次のうちどれですか。



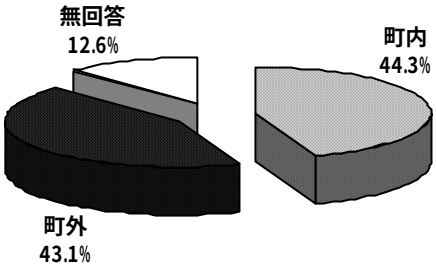
	件数	構成比
1.農林水産業	89	9.7%
2.製造業・建設業	175	19.1%
3.商業・サービス業（公務を含む）	229	25.1%
4.学生	45	4.9%
5.家事専業	101	11.1%
6.無職	232	25.4%
7.その他	26	2.8%
無回答	17	1.9%
計	914	100.0%

Ｆ５－１　あなたの就労形態は次のどれですか。



	件数	構成比
1.自営（家族従業員を含む）	166	32.0%
2.雇われている（常勤）	217	41.8%
3.雇われている（パート・アルバイト）	100	19.3%
無回答	36	6.9%
計	519	100.0%

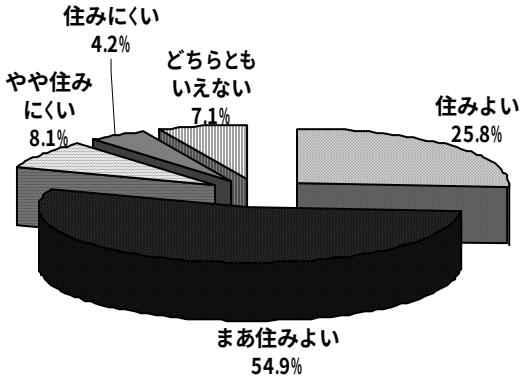
Ｆ５－２　あなたの通勤・通学先は次のどれですか。



	件数	構成比
1.町内	250	44.3%
2.町外	243	43.1%
無回答	71	12.6%
計	564	100.0%

（注）Ｆ５－１は、Ｆ５で「１」から「３」及び「７」と回答した 519 人が対象です。
　　Ｆ５－２は、Ｆ５で「１」から「４」及び「７」と回答した 564 人が対象です。

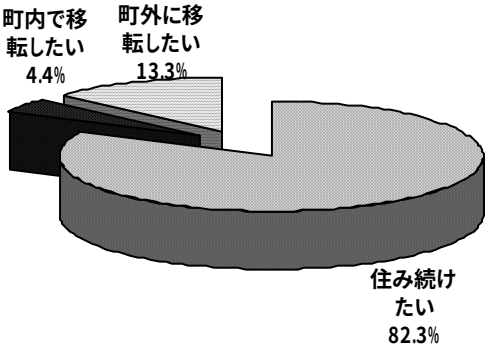
問１　森町の住み心地はいかがですか。



	件数	構成比
1.**住みよい**	233	25.8%
2.**まあ住みよい**	496	54.9%
3.**やや住みにくい**	73	8.1%
4.**住みにくい**	38	4.2%
5.**どちらともいえない**	64	7.1%
計	904	100.0%

- 「住みよい」及び「まあ住みよい」と回答した人が80.7%を占めています。

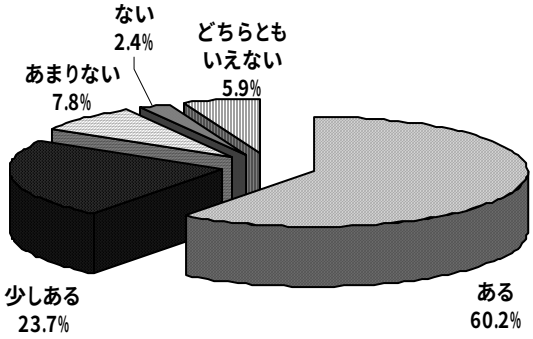
問２　これからも、いま住んでいるところに住み続けたいと思いますか。



	件数	構成比
1.**住み続けたい**	735	82.3%
2.**町内で移転したい**	39	4.4%
3.**町外に移転したい**	119	13.3%
計	893	100.0%

- 今後もいま住んでいるところに「住み続けたい」と回答した人が82.3%を占めています。

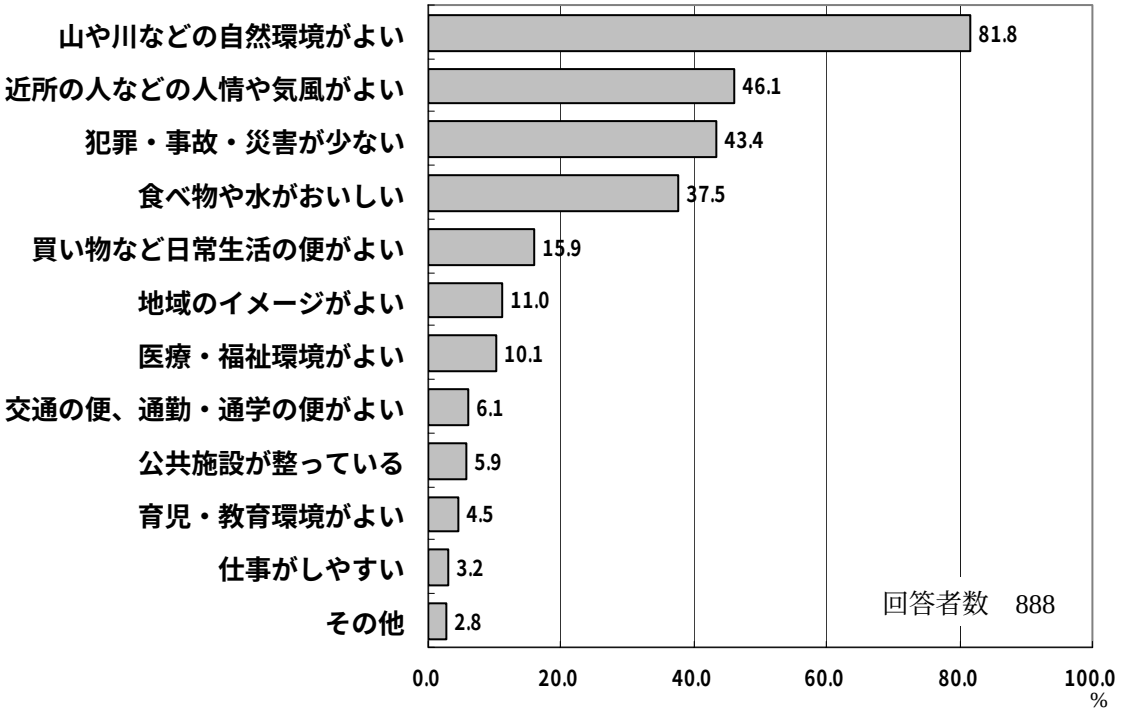
問３　あなたは、森町に「自分のまちとしての愛着」がありますか。



	件数	構成比
1.**ある**	541	60.2%
2.**少しある**	213	23.7%
3.**あまりない**	70	7.8%
4.**ない**	22	2.4%
5.**どちらともいえない**	53	5.9%
計	899	100.0%

- 自分の町として愛着が「ある」及び「少しある」と回答した人が83.9%を占めています。

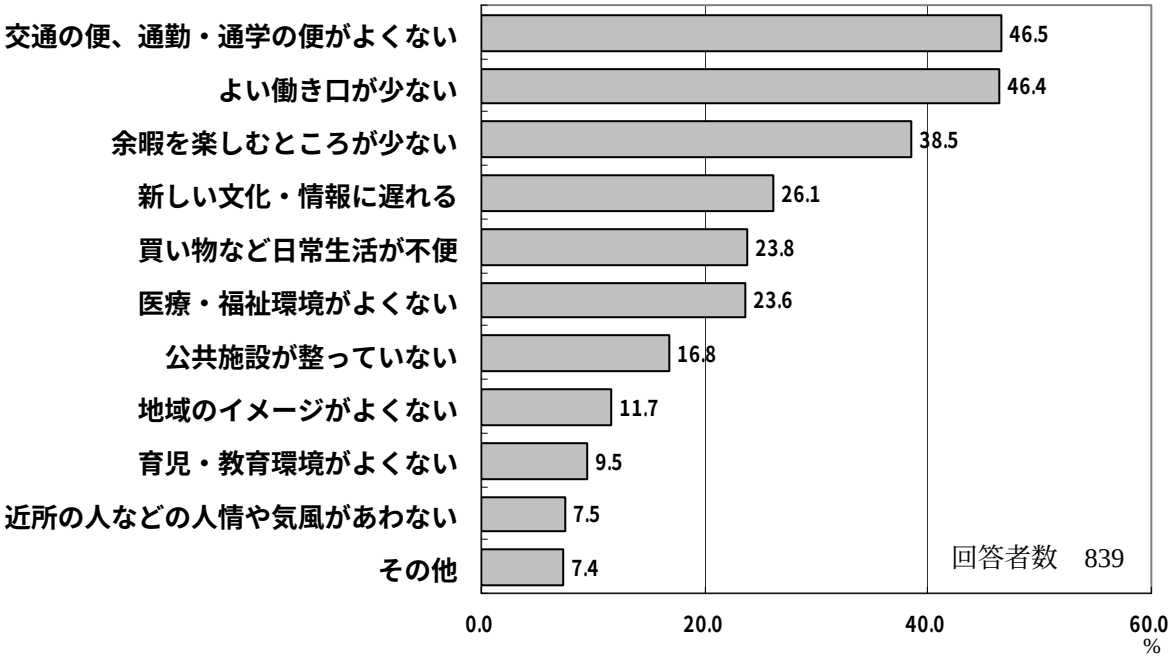
問４　森町のよいところはどんなところですか。
次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.**近所の人などの人情や気風がよい**	409	17.2%	46.1%
2.**地域のイメージがよい**	98	4.1%	11.0%
3.**山や川などの自然環境がよい**	726	30.5%	81.8%
4.**育児・教育環境がよい**	40	1.7%	4.5%
5.**医療・福祉環境がよい**	90	3.8%	10.1%
6.**犯罪・事故・災害が少ない**	385	16.2%	43.4%
7.**交通の便、通勤・通学の便がよい**	54	2.3%	6.1%
8.**食べ物や水がおいしい**	333	14.0%	37.5%
9.**買い物など日常生活の便がよい**	141	5.9%	15.9%
10.**公共施設が整っている**	52	2.2%	5.9%
11.**仕事がしやすい**	28	1.2%	3.2%
12.**その他**	25	1.0%	2.8%
計	2,381	100.0%	

- 森町のよいところとして「山や川などの自然環境がよい」をあげた人が 81.8%ともっとも高く、次いで「近所の人などの人情や気風がよい」（46.1%）、「犯罪・事故・災害が少ない」（43.4%）、「食べ物や水がおいしい」（37.5%）の順となっています。一方で「仕事がしやすい」（3.2%）、「育児・教育環境がよい」（4.5%）、「公共施設が整っている」（5.9%）、「交通の便、通勤・通学の便がよい」（6.1%）をあげた人は 10%未満となっています。
- 「その他」の意見では、お祭りや伝統芸能があってよいといった記述がみられました。

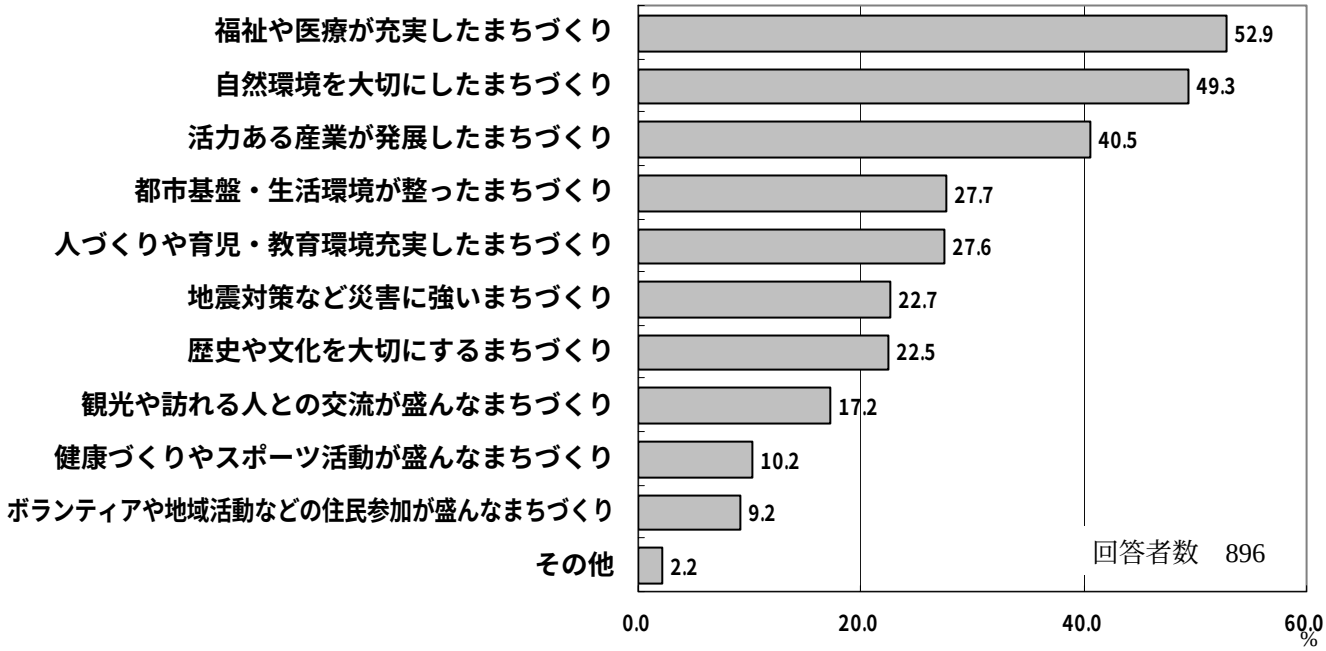
問５　森町のよくないところはどんなところだと思いますか。
次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.**近所の人などの人情や気風があわない**	63	2.9%	7.5%
2.**地域のイメージがよくない**	98	4.5%	11.7%
3.**育児・教育環境がよくない**	80	3.7%	9.5%
4.**医療・福祉環境がよくない**	198	9.2%	23.6%
5.**交通の便、通勤・通学の便がよくない**	390	18.0%	46.5%
6.**買い物など日常生活が不便**	200	9.2%	23.8%
7.**公共施設が整っていない**	141	6.5%	16.8%
8.**よい働き口が少ない**	389	18.0%	46.4%
9.**余暇を楽しむところが少ない**	323	14.9%	38.5%
10.**新しい文化・情報に遅れる**	219	10.1%	26.1%
11.**その他**	62	2.9%	7.4%
計	2,163	100.0%	

- 森町のよくないところとして「交通の便、通勤・通学の便がよくない」をあげた人が 46.5%と高く、ほぼ同率で「よい働き口が少ない」（46.4%）、次いで「余暇を楽しむところが少ない」（38.5%）、「新しい文化・情報に遅れる」（26.1%）、「買い物など日常生活が不便」（23.8%）、「医療・福祉環境がよくない」（23.6%）となっています。
- 「その他」の意見では、閉鎖的、道路整備が遅れているといった記述がみられました。

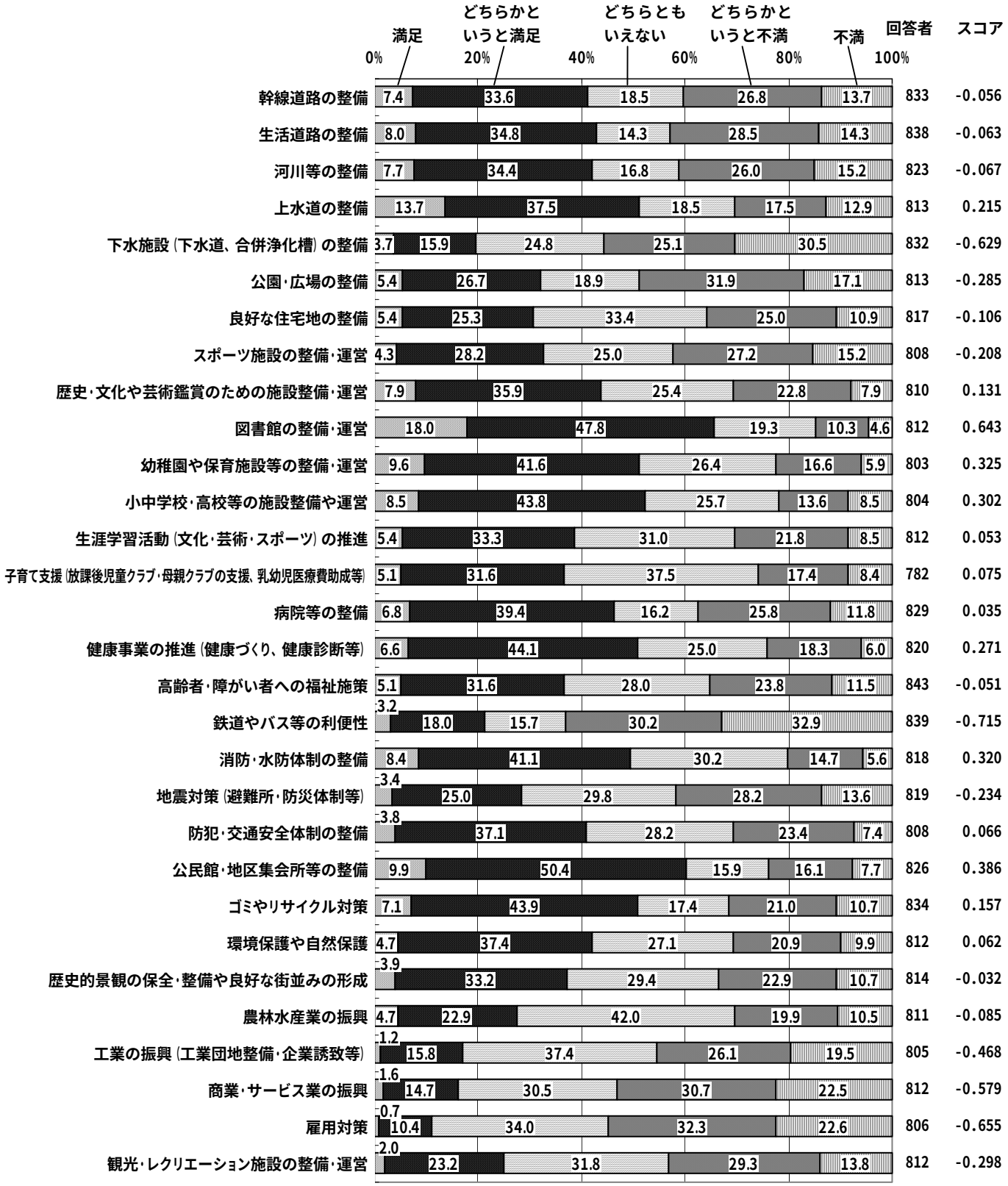
問６　森町は今後どのようなまちづくりに力を入れていくべきだと思いますか。
次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.活力ある産業が発展したまちづくり	363	14.4%	40.5%
2.自然環境を大切にしたまちづくり	442	17.5%	49.3%
3.都市基盤・生活環境が整ったまちづくり	248	9.8%	27.7%
4.福祉や医療が充実したまちづくり	474	18.8%	52.9%
5.人づくりや育児・教育環境が充実したまちづくり	247	9.8%	27.6%
6.健康づくりやスポーツ活動が盛んなまちづくり	91	3.6%	10.2%
7.地震対策など災害に強いまちづくり	203	8.0%	22.7%
8.歴史や文化を大切にするまちづくり	202	8.0%	22.5%
9.観光や訪れる人との交流が盛んなまちづくり	154	6.1%	17.2%
10.ボランティアや地域活動などの住民参加が盛んなまちづくり	82	3.2%	9.2%
11.その他	20	0.8%	2.2%
計	2,526	100.0%	

- 今後力を入れるべきまちづくりの方向として、「福祉や医療が充実したまちづくり」をあげた人が 52.9%ともっとも高く、次いで「自然環境を大切にしたまちづくり」（49.3%）、「活力ある産業が発展したまちづくり」（40.5%）となっています。一方で「ボランティアや地域活動などの住民参加が盛んなまちづくり」をあげた人は 9.2%にとどまっています。
- 「その他」の意見では、小京都と呼ばれるのにふさわしいまちづくり、働けなくなっても安心して住めるまちづくりといった記述がみられました。

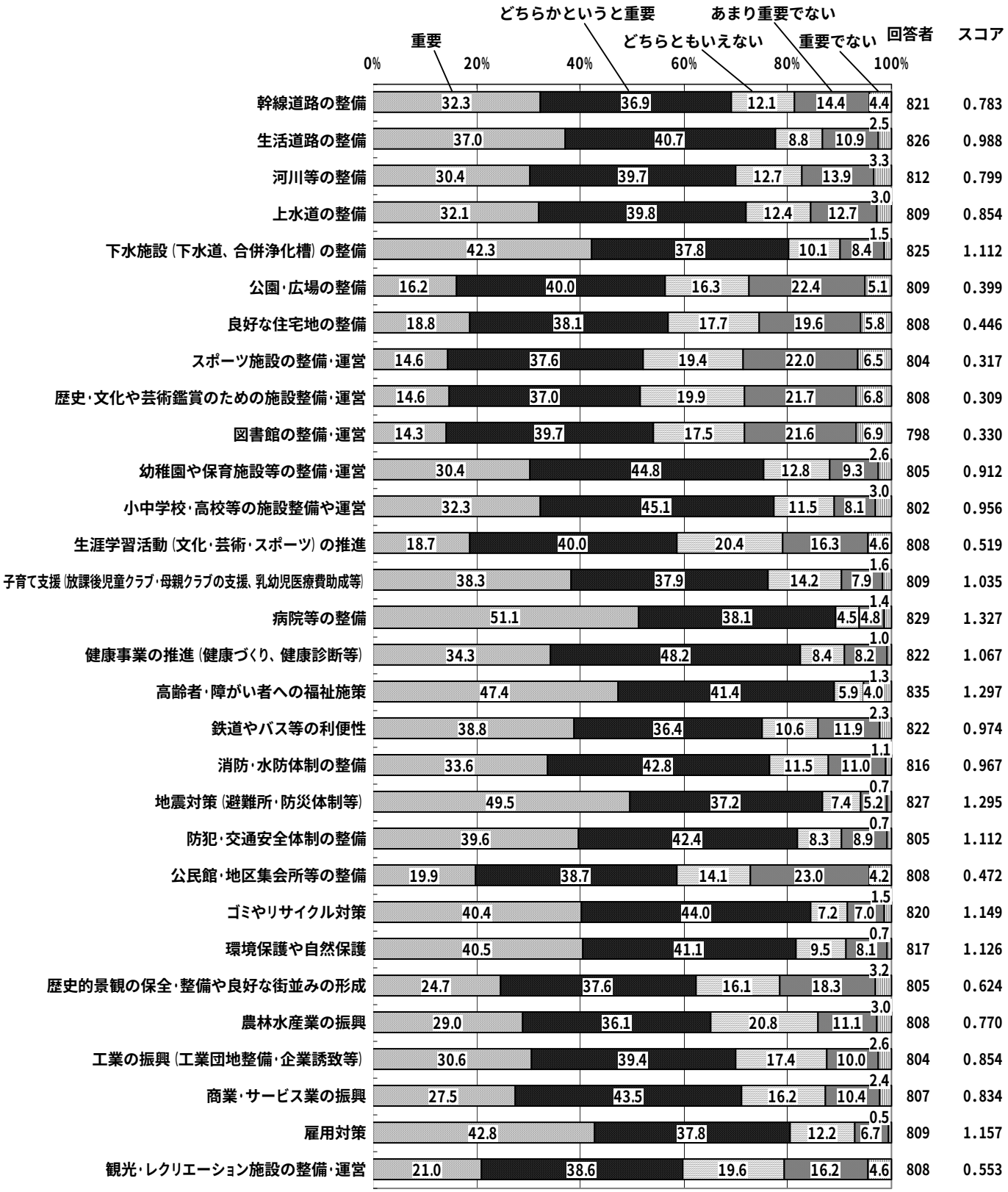
問７　現在の森町の取り組みに対する「満足度」をおたずねします。
次のそれぞれの事項について、あてはまる評価の番号に○をつけてください。



（注）評価を比較するため、以下のようにスコア変換を行っています。

満足	どちらかというと満足	どちらともいえない	どちらかというと不満	不満
2	1	0	-1	-2

問８　今後、ますます厳しくなる財政状況の中で、森町の取り組みに関する「重要度」をおたずねします。次のそれぞれの事項について、あてはまる評価の番号に○をつけてください。

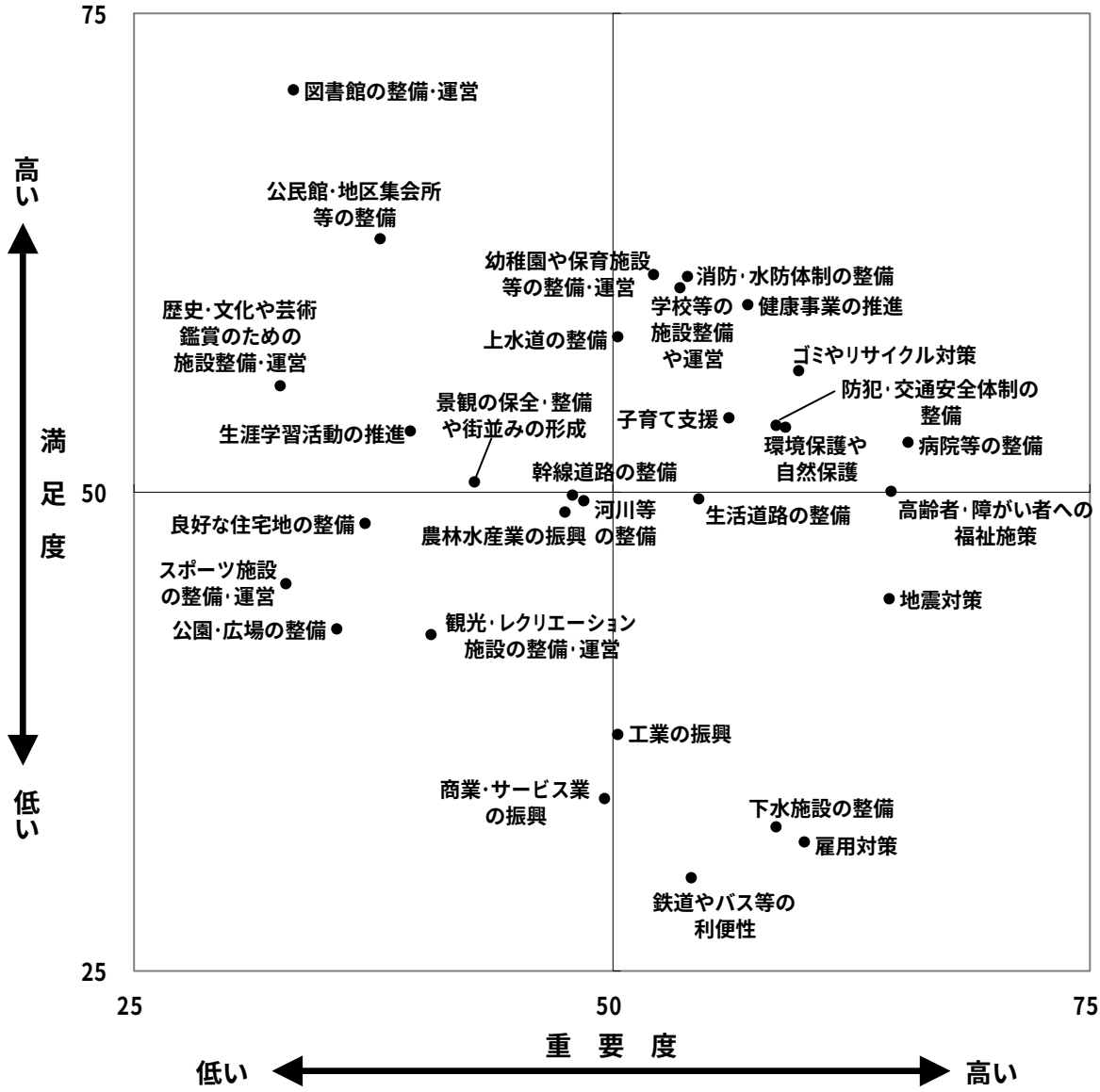


（注）評価を比較するため、以下のようにスコア変換を行っています。

重要	どちらかというと重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
2	1	0	-1	-2

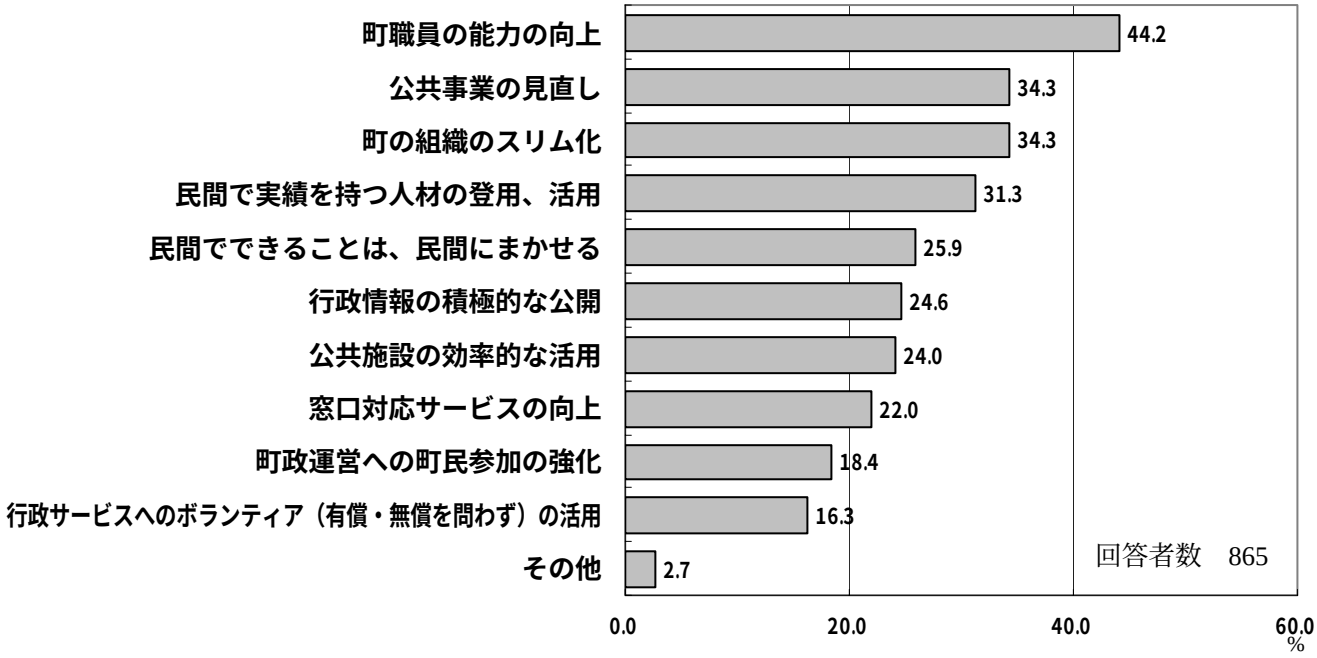
- 問７・問８では、森町の取り組みについて満足度及び重要度を５つの評価に分けてたずねました。
- 満足度（「満足」及び「どちらかというと満足」の割合）が高いものは、「図書館の整備・運営」（65.8%）、「公民館・地区集会所等の整備」（60.3%）、「小中学校・高校等の施設整備や運営」（52.2%）、「幼稚園や保育施設等の整備・運営」（51.2%）、「上水道の整備」（51.2%）の順となっています。一方で「不満」及び「どちらかというと不満」の割合が高いものは、「鉄道やバス等の利便性」（53.1%）、「下水施設（下水道、合併浄化槽等）の整備」（55.6%）、「雇用対策」（54.8%）、「商業・サービス業の振興」（53.2%）、「公園・広場の整備」（49.0%）の順となっています。
- 重要度（「重要」及び「どちらかというと重要」の割合）が高いものは、「病院等の整備」（89.3%）、「高齢者・障がい者への福祉施策」（88.9%）、「地震対策（避難所・防災体制等）」（86.7%）、「ゴミやリサイクル対策」（84.4%）、「健康事業の推進（健康づくり、健康診断等）」（82.5%）の順となっています。

【満足度×重要度】



- 問７で算出した満足度のスコアと問８で算出した重要度のスコアから偏差値を算出し、散布図におとしました。
- 重要度が高く満足度が低いものほど改善の必要性が高いと考えられますが、「雇用対策」や「下水施設（下水道、合併浄化槽等）の整備」、「鉄道やバス等の利便性」、「地震対策（避難所・防災体制等）」、「工業の振興（工業団地整備・企業誘致等）」、「生活道路の整備」が改善の必要性が高いといえます。

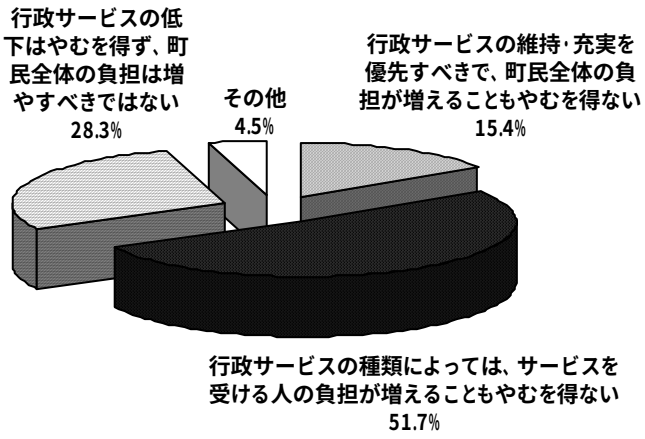
問９　森町の町政運営について今後どのようなことを望みますか。
次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.町の組織のスリム化	297	12.3%	34.3%
2.町職員の能力の向上	382	15.9%	44.2%
3.行政サービスへのボランティア（有償・無償を問わず）の活用	141	5.9%	16.3%
4.民間で実績を持つ人材の登用、活用	271	11.3%	31.3%
5.民間でできることは、民間にまかせる	224	9.3%	25.9%
6.窓口対応サービスの向上	190	7.9%	22.0%
7.公共事業の見直し	297	12.3%	34.3%
8.行政情報の積極的な公開	213	8.9%	24.6%
9.公共施設の効率的な活用	208	8.6%	24.0%
10.町政運営への町民参加の強化	159	6.6%	18.4%
11.その他	23	1.0%	2.7%
計	2,405	100.0%	

- 今後の町政運営については、「町職員の能力の向上」をあげた人が 44.2%ともっとも高く、次いで「公共事業の見直し」及び「町組織のスリム化」（34.3%）となっています。
- 「その他」の意見では、中長期的に収入に合った予算を組む、方向性をはっきりする、先送りにしない意識改革をするといった記述がみられました。

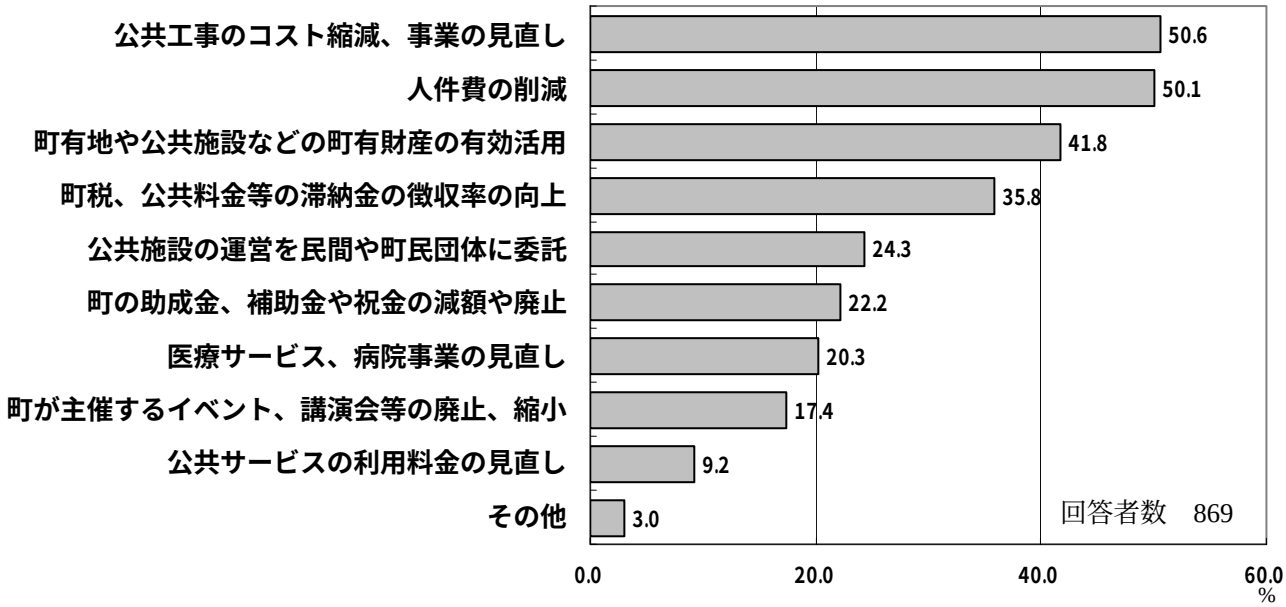
問 10　厳しい財政状況を踏まえ、サービスと負担のバランスを見直さざるを得ない場合、あなたの考えに一番近いものを次の中から１つだけ選んで番号に○をつけてください。



	件数	構成比
1.**行政サービスの維持・充実を優先すべきで、町民全体の負担が増えることもやむを得ない**	133	15.4%
2.**行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない**	445	51.7%
3.**行政サービスの低下はやむを得ず、町民全体の負担は増やすべきではない**	244	28.3%
4.**その他**	39	4.5%
計	861	100.0%

- サービスの負担のバランスについては、「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない」をあげた人が 51.7%ともっとも高くなっています。
- 「その他」の意見では、行政サービスの充実を図り町民負担の軽減に最大限努力すべき、知恵を出し合えば町民負担は増やさずに行政サービスは充実できるといった記述がみられました。

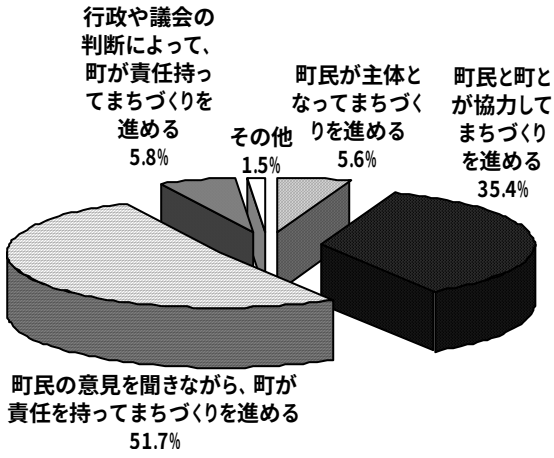
問 11　財政を健全化させていくために、今後さらに重点をおくべき項目は何だと思いますか。
次の中から３つまで選んで番号に○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.公共工事のコスト縮減、事業の見直し	440	18.4%	50.6%
2.町の助成金、補助金や祝金の減額や廃止	193	8.1%	22.2%
3.町が主催するイベント、講演会等の廃止、縮小	151	6.3%	17.4%
4.公共施設の運営を民間や町民団体に委託	211	8.8%	24.3%
5.町有地や公共施設などの町有財産の有効活用	363	15.2%	41.8%
6.人件費の削減	435	18.2%	50.1%
7.医療サービス、病院事業の見直し	176	7.4%	20.3%
8.公共サービスの利用料金の見直し	80	3.4%	9.2%
9.町税、公共料金等の滞納金の徴収率の向上	311	13.0%	35.8%
10.その他	26	1.1%	3.0%
計	2,386	100.0%	

- 財政健全化のため今後さらに重点をおくべき項目として、「公共工事のコスト縮減、事業の見直し」（50.6%）と「人件費の削減」（50.1%）が過半数を超え高い数値を示しており、次いで「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」（41.8%）となっています。
- 「その他」の意見では、企業を誘致し税収を上げる、民間の知恵と職員を上手に活用するといった記述がみられました。

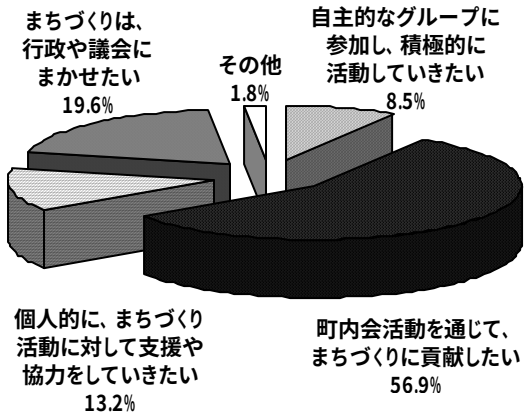
問 12　まちづくりを進めるにあたり、町民はどのように関わっていくべきだと思いますか。
あなたの考えに一番近いものを次の中から１つだけ選んで番号に○をつけてください。



	件数	構成比
1.町民が主体となってまちづくりを進める	49	5.6%
2.町民と町とが協力してまちづくりを進める	309	35.4%
3.町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める	451	51.7%
4.行政や議会の判断によって、町が責任を持ってまちづくりを進める	51	5.8%
5.その他	13	1.5%
計	873	100.0%

- まちづくりの進め方については、「町民の意見を聞きながら、町が責任を持ってまちづくりを進める」をあげた人がもっとも多く 51.7%となっています。
- 「その他」の意見では、もっと町民の意見を聞く、積極的に参加する町民の意見だけでは偏ってしまうためバランス感覚のある人の意見を取り入れる、町民の町政に対する意識向上を図るといった記述がみられました。

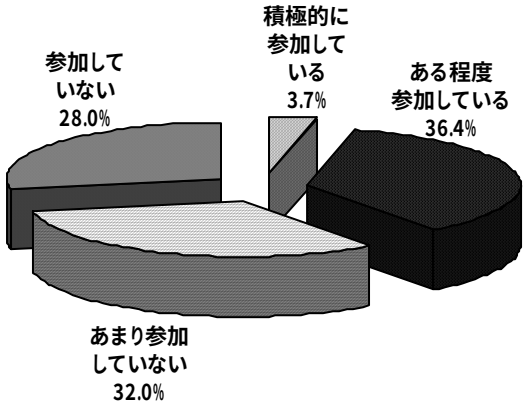
問 13　あなたは、これからのまちづくりにどのように参加したいと思いますか。
あなたの考えに一番近いものを次の中から１つだけ選んで番号に○をつけてください。



	件数	構成比
1.自主的なグループに参加し、積極的に活動していきたい	71	8.5%
2.町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい	475	56.9%
3.個人的に、まちづくり活動に対して支援や協力をしていきたい	110	13.2%
4.まちづくりは、行政や議会にまかせたい	164	19.6%
5.その他	15	1.8%
計	835	100.0%

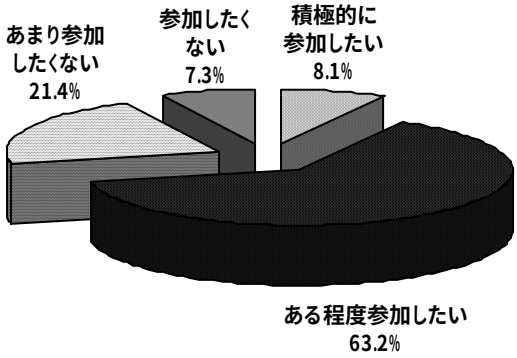
- これからのまちづくりにどう参加したいかについては、「町内会活動を通じて、まちづくりに貢献したい」と回答した人が 56.9%と最も多く、過半数を占めています。
- 「その他」の意見では、町職員と一体となって活動したいといった記述がみられました。

問 14　現在、まちづくり活動に参加していますか。
次の中からあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。



	件数	構成比
積極的に参加している	32	3.7%
ある程度参加している	316	36.4%
あまり参加していない	278	32.0%
参加していない	243	28.0%
計	869	100.0%

問 15　今後、どのようにまちづくり活動に参加したいと思いますか。
次の中からあてはまる番号に１つだけ○をつけてください。



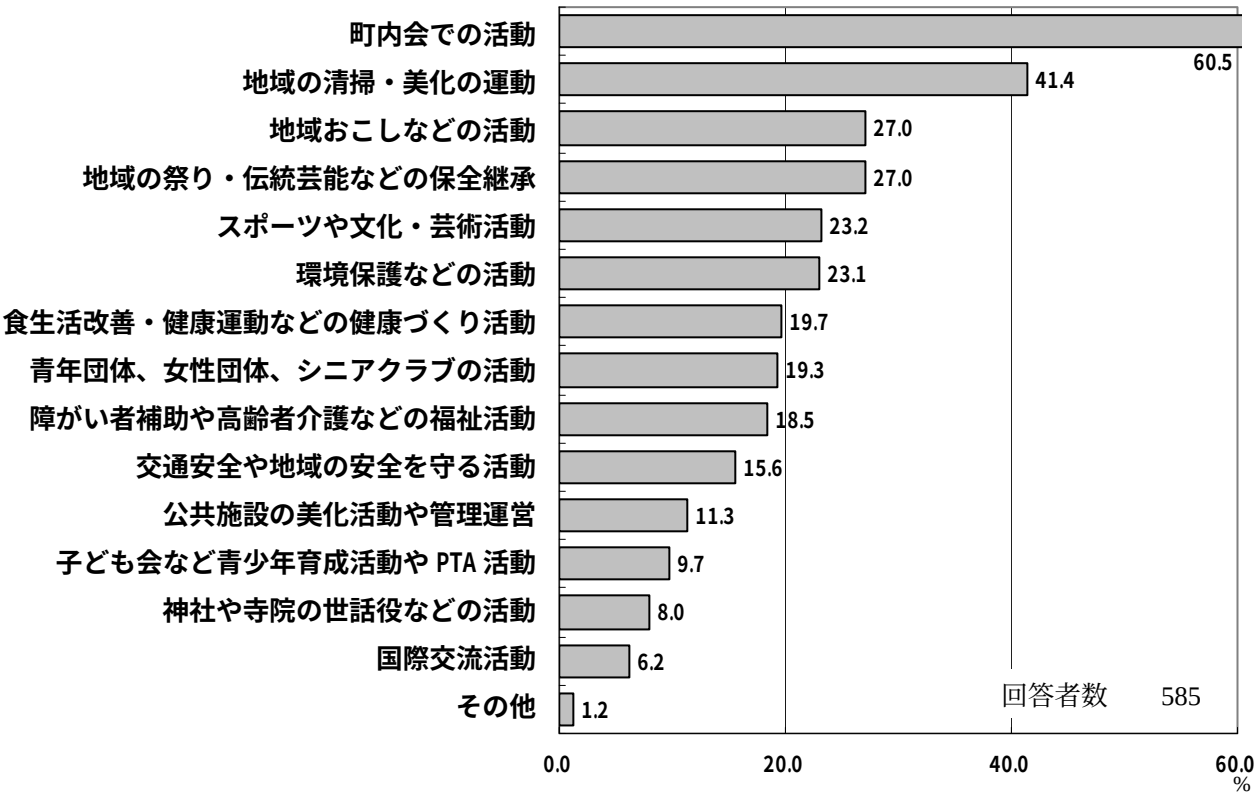
	件数	構成比
1.積極的に参加したい	68	8.1%
2.ある程度参加したい	528	63.2%
3.あまり参加したくない	179	21.4%
4.参加したくない	61	7.3%
計	836	100.0%

- 現在のまちづくり活動への参加状況では、「あまり参加していない」及び「参加していない」と回答した人が 60.0%と実際に参加していない人が 6 割を占めているのに対し、今後のまちづくり活動への参加については、「積極的に参加したい」及び「ある程度参加したい」と回答した人が 71.3%と将来的には参加したい人が 7 割以上を占めています。

問 15－１　問 15 で「１．積極的に参加したい」もしくは「２．ある程度参加したい」とお答えいただいた方におたずねします。

具体的にどのような活動に参加したいと思いますか。

次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。



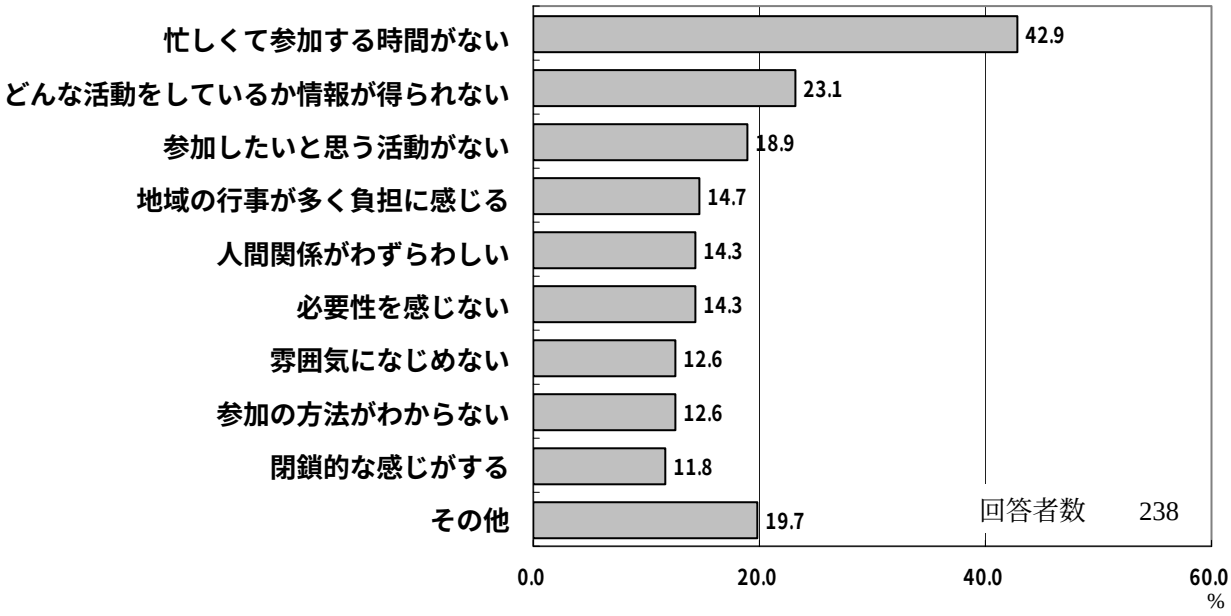
	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.町内会での活動	354	19.4%	60.5%
2.子ども会など青少年育成活動や PTA 活動	57	3.1%	9.7%
3.青年団体、女性団体、シニアクラブの活動	113	6.2%	19.3%
4.スポーツや文化・芸術活動	136	7.5%	23.2%
5.食生活改善・健康運動などの健康づくり活動	115	6.3%	19.7%
6.地域の清掃・美化の運動	242	13.3%	41.4%
7.公共施設の美化活動や管理運営	66	3.6%	11.3%
8.神社や自院の世話役などの活動	47	2.6%	8.0%
9.障がい者補助や高齢者介護などの福祉活動	108	5.9%	18.5%
10.環境保護などの活動	135	7.4%	23.1%
11.交通安全や地域の安全を守る活動	91	5.0%	15.6%
12.国際交流活動	36	2.0%	6.2%
13.地域おこしなどの活動	158	8.7%	27.0%
14.地域の祭り・伝統芸能などの保全継承	158	8.7%	27.0%
15.その他	7	0.4%	1.2%
計	1,823	100.0%	

- 今後参加したいまちづくり活動についてたずねたところ、「町内会での活動」をあげた人が 60.5%ともっとも高く、次いで「地域の清掃・美化の運動」（41.4%）、「地域おこしなどの活動」及び「地域の祭り・伝統芸能などの保全継承」（27.0%）となっています。

問 15－２　問 15 で「３．あまり参加したくない」もしくは「４．参加したくない」とお答えいただいた方におたずねします。

あなたがまちづくり活動に参加したくないのはどのような理由ですか。

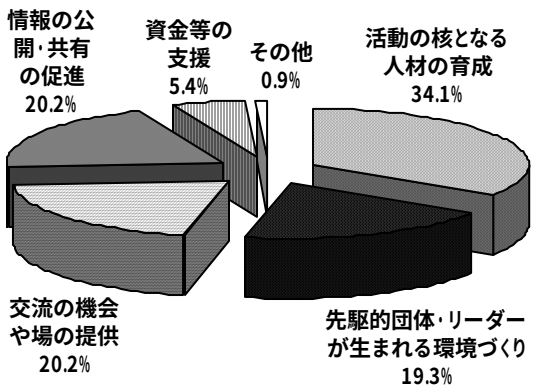
次の中からあてはまる番号すべてに○をつけてください。



	件数	回答件数に対する構成比	回答者数に対する構成比
1.忙しくて参加する時間がない	102	23.2%	42.9%
2.参加したいと思う活動がない	45	10.2%	18.9%
3.地域の行事が多く負担に感じる	35	8.0%	14.7%
4.人間関係がわずらわしい	34	7.7%	14.3%
5.雰囲気になじめない	30	6.8%	12.6%
6.閉鎖的な感じがする	28	6.4%	11.8%
7.参加の方法がわからない	30	6.8%	12.6%
8.どんな活動をしているか情報が得られない	55	12.5%	23.1%
9.必要性を感じない	34	7.7%	14.3%
10.その他	47	10.7%	19.7%
計	440	100.0%	

- まちづくり活動に参加したくない理由をたずねたところ、「忙しくて参加する時間がない」をあげた人が42.9%ともっとも高く、次いで「どんな活動をしているか情報が得られない」（23.1%）、「参加したいと思う活動がない」（18.9%）となっています。
- 「その他」の意見では、高齢や体が不自由のため参加することが困難といった意見が多くみられました。

問 16　まちづくり活動へ参加するには、どのようなことが重要だと思いますか。
もっとも重要だと思うものを次の中から１つだけ選んで番号に○をつけてください。



	件数	構成比
1.**活動の核となる人材の育成**	277	34.1%
2.**先駆的団体･リーダーが生まれる環境づくり**	157	19.3%
3.**交流の機会や場の提供**	164	20.2%
4.**情報の公開・共有の促進**	164	20.2%
5.**資金等の支援**	44	5.4%
6.**その他**	7	0.9%
計	813	100.0%

- まちづくり活動へ参加するために重要なこととして、「活動の核となる人材の育成」をあげた人が 34.1%ともっとも高く、次いで「交流の機会や場の提供」（20.2%）及び「情報の公開・共有の促進」（20.2%）となっています。

最後にまちづくりについて、今ご意見やご提案がありましたらご自由にお書きください。

【代表的な意見】

- 仕事を持つ人がまちづくりに参加するには主に土日や夜になります。したがって、公共機関や担当職員の勤務も超過や夜間という手当てがつく形態でなく勤務時間を割り振ってやりくりしていくことも一つの方法だと思います。
- 意見を出し合う場が必要。（メール等の活用）
- 企業の誘致を図る。
- 子育てしながらでも働きやすい環境づくりをして欲しい。
- 子どもが夢を持って住める町に、若者が希望を持ち町外へ出て行かない町に、高齢者が安心して住める町にして欲しい。
- 教育の充実を図り、学力が向上すれば町の活力も上がると思う。
- テレビで取り上げられた観光地について､たずねられたことがある｡もっと看板等の整備をして欲しい。
- 病院の医師や看護師が異動しないようにして欲しい。
- 図書館の維持管理のために町民の寄附を募る。
- 森町だけではやっていけないので、合併すべきだった。
- 合併しなかった以上最低限の整備のみを行って、昔ながらの景観や街並み・自然を残し、下手に他地域を真似るのではなく、森町の特色を出すのがよい。
- 町職員を民間企業の職員と同様に育成する。